

光琳新撰百圖

上

世の中は尾形光琳のもうはきや
一花一葉をまゝ人は是を物とて奇に
ようとてうたれ——其は何と云く我
大皇國乃寛平延喜の如くや
なるをむねとて——るを宋の古雅とて
ものゝ——人物山水花鳥の如く
奥の極め筆墨のたゞと精妙

ひさしく位置凡そまゝ人ふれお
出で世はまゝの古人此跡をふりて古
人の跡をばりて古人乃あとも鑑
て暗き古人此意をあや昔此人
はさく平生古人ありて学力をも
毛深く学ばるゝを以て古人あり
して精ん自ら顕るゝふりてまゝ

とて 伊ふるむねをせん
後く 雲あて 推して けし 雅な
うさつあり 又あて 俗して 言雅雅
あまう ありて にも 雅なる けし
けし 光珠ら 表表 甚も 雅なる けし
とあまう けし 雅して 樂に けし
り 如く けし 雅なる けし

是我 皇國のたゞの義 南宗最
第一の言——我師抱一人者
又我師を以て我師に抱くは
我人の心を思ふはあらず我
皇の武士は我師の如く是れ
道に言はるる乃ち我師の如く
いふは我師の如く

よきことなりとては、
能くしる事なるは、
取用あるもの我
奴とて、
卓落を、
強く、
因中につくる、
自ら大和魂、

志ととふなり誠を中境へまを
けりといふ事なる事なりといふ

御國の如く書北博士あつて
活眼好古の人といふ所なりといふ

凡そ鑑定をもとめて鑑識あり

それ書乃筋もつてある一語

いふ事ありと強ひていふ事あり

—あまの志たふまゝ馬へあひうめく—
てかゝる筆黒く此蹟のこゝろ慕ひ
悦びし事とて此き年以ちあまの海に
みゆけ月こはぬにあり毎に
芝休れちあり此をなめてはちたるを
こゝろあまの師にさへいさけ
ひきとりまほしきたふさる

思ひ及れぬ事と云ふは、此の古書
と始め、南京北宗と云ふ
癖たあれ、つめぬものなる
目とんれぬと云ふは、後
つるは、この法橋と云ふ
れ、前より、主と云ふ
と云ふ、中より、主と云ふ

師れり — 筆をばしひたり

芝林百図よりひ 芝林新標百

圖とありむ 二かきとれ

桜木のふやふやとるも

世もあ — ありん

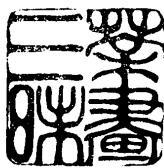
わん — ありん

あゝあゝに教ふれ筆れたる

けもあまじきとてなり

元治と改めたる甲子の年

張邨 藤原之佐 喬松 軒
北南窓乃をともとのある。

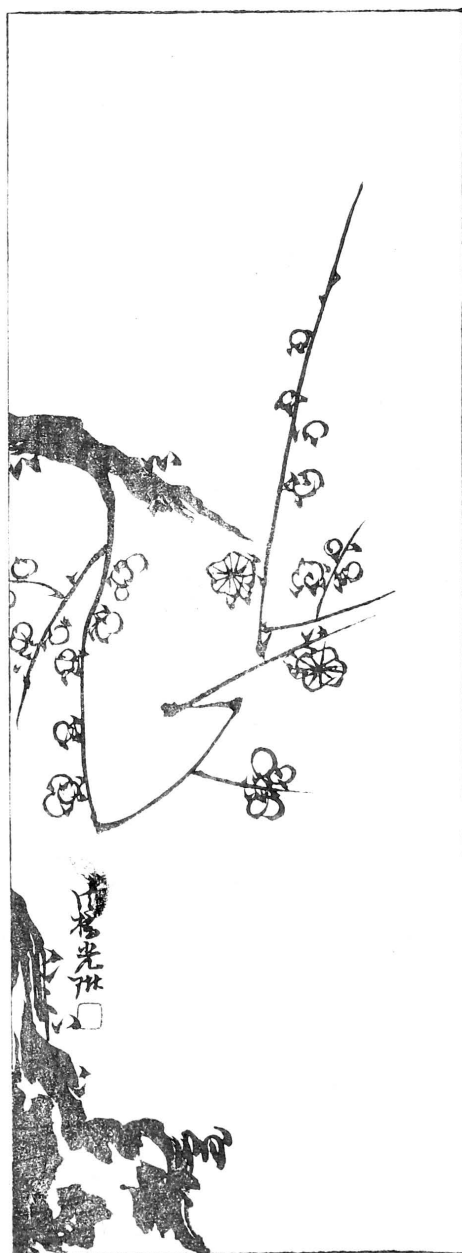


續本繪彩



法華經
卷之五

續平
墨画



續本
淡彩





信格之所

信本彩系太公望

紙本彩系
秋好才之侍女
横山氏藏



信格之所

紙本設色

法華經圖卷之五

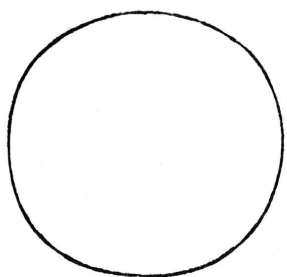


延寶九年四月六日

主
尾形南翠

紙本金銀泥

舊松軒藏



紙本彩色



絹本彩色 山可停勢二幅對



山可停勢

繪本
新巻



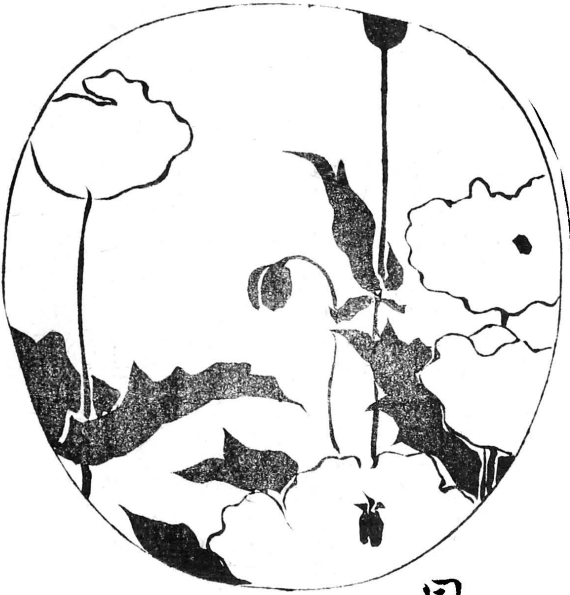
紙本三幅對法影



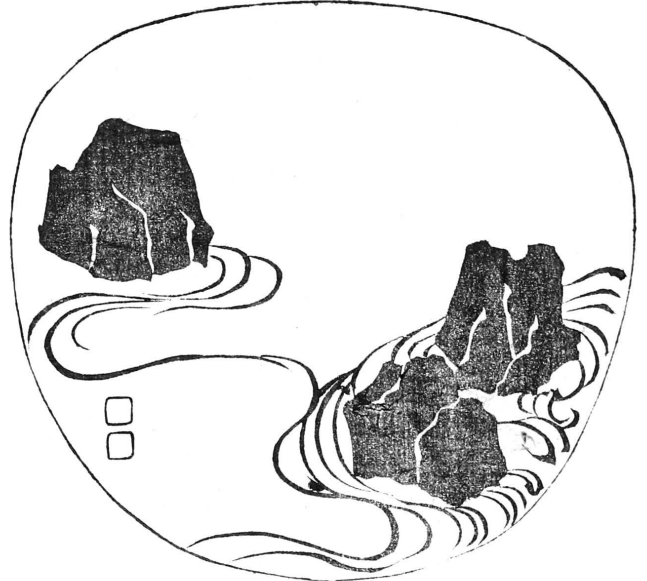


金地

金地
周解



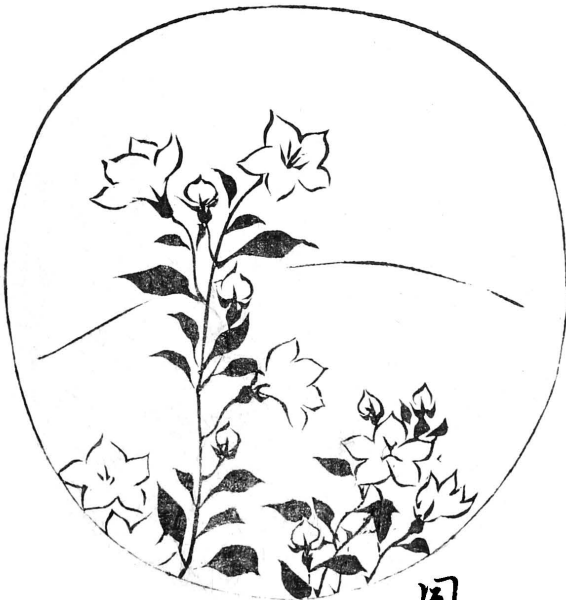
同



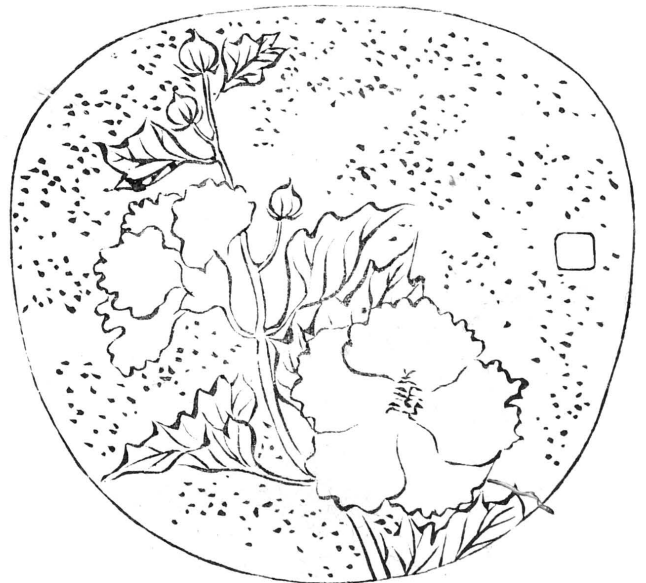
極彩毫

金地

金砂子



同

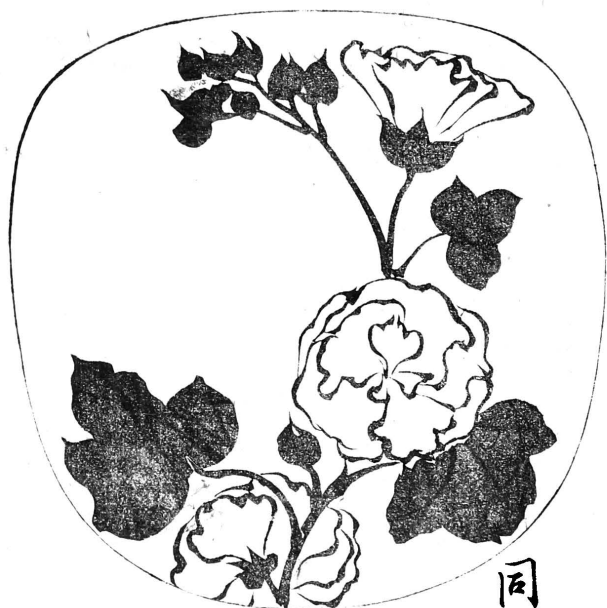


極彩毫

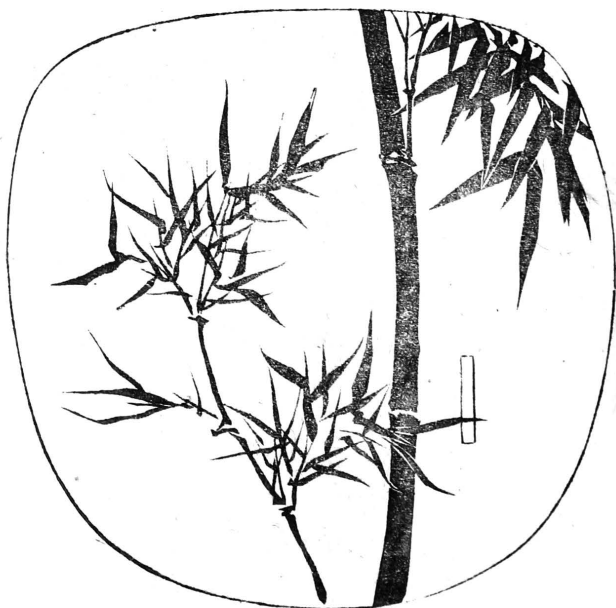
金沢
墨画



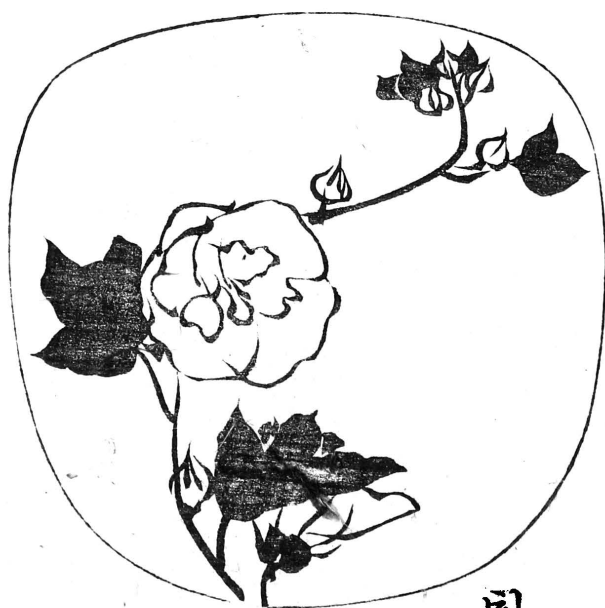
金沢
泥引



金沢
泥引



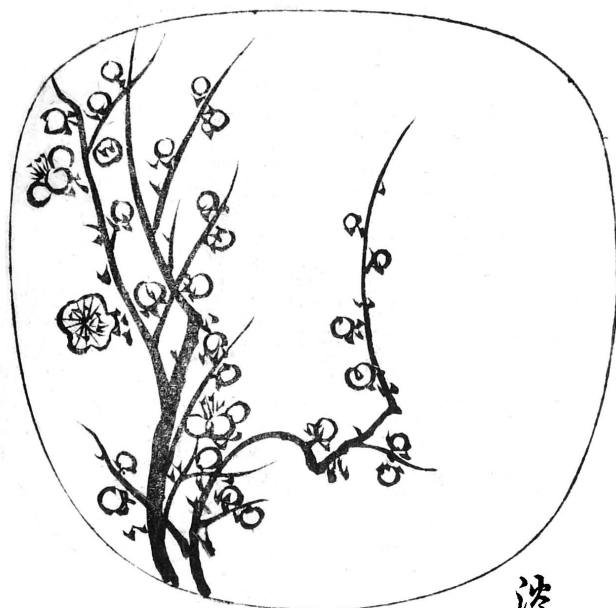
泥引



墨画

同

泥引



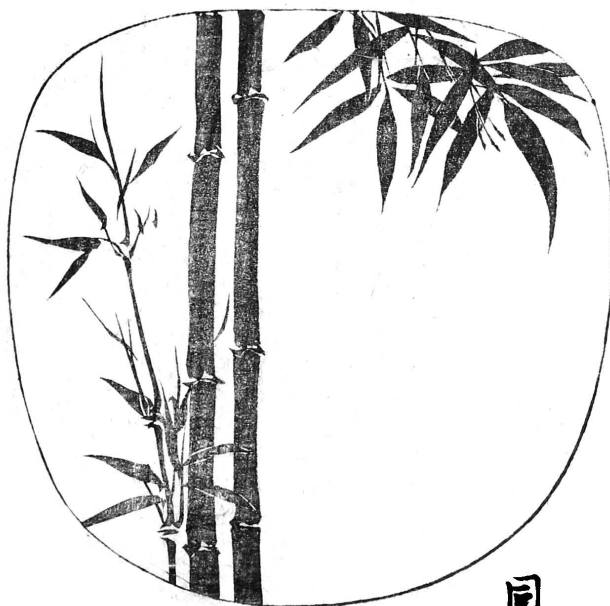
泥引

泥金



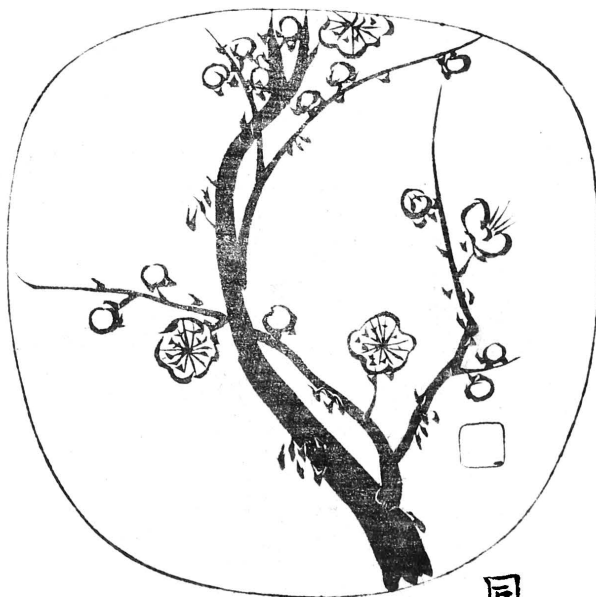
泥金

同



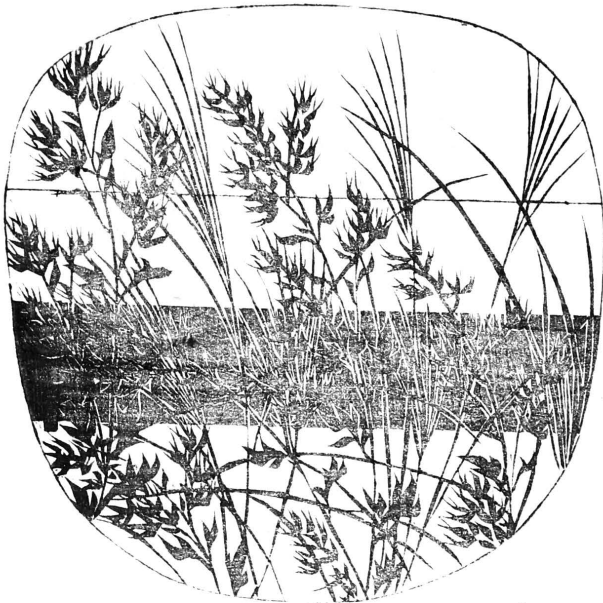
同

泥引

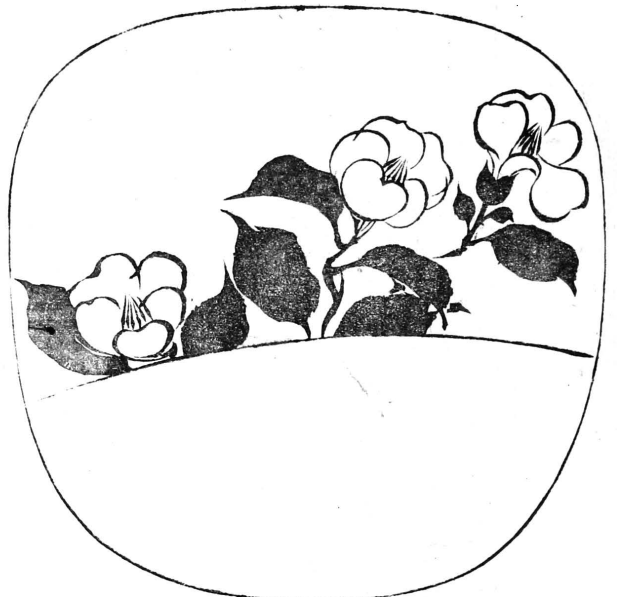


同

金地



極彩毫



極彩毫

[illegible]



金池三枚打屏風
修勢切極極彩子

什松光社方鏡



仿李公画之笑

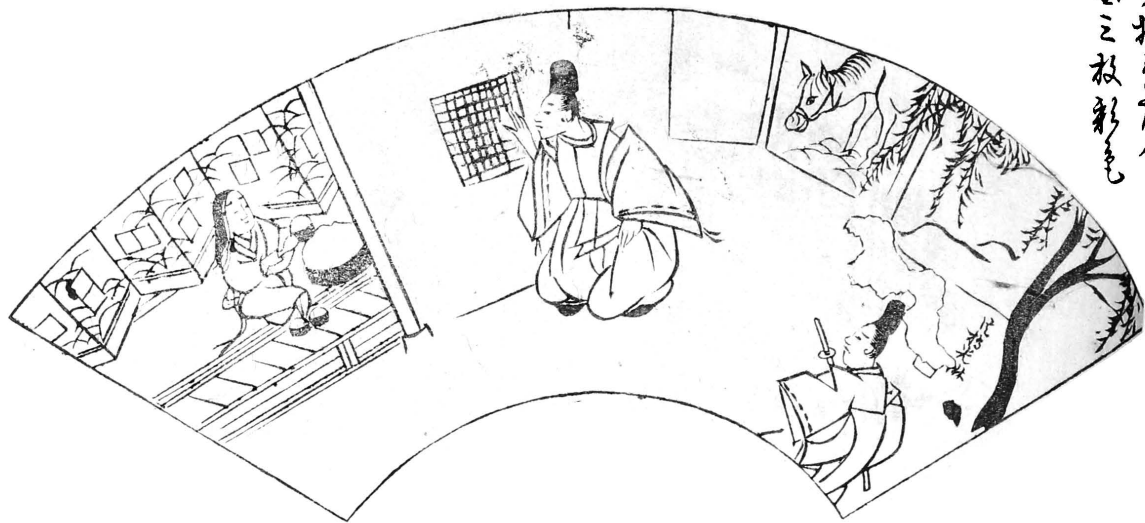


舊松軒藏

續李淳彩祝子晉山



何物相うへり
扇面三枚彩色



管公錄記扇面
三枚彩象



晴東隱士之出

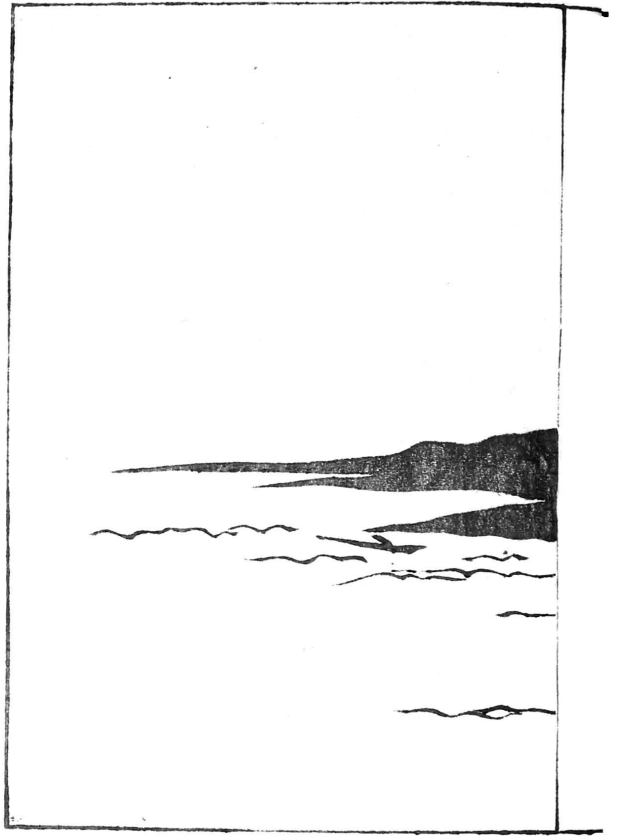


不爭庵藏

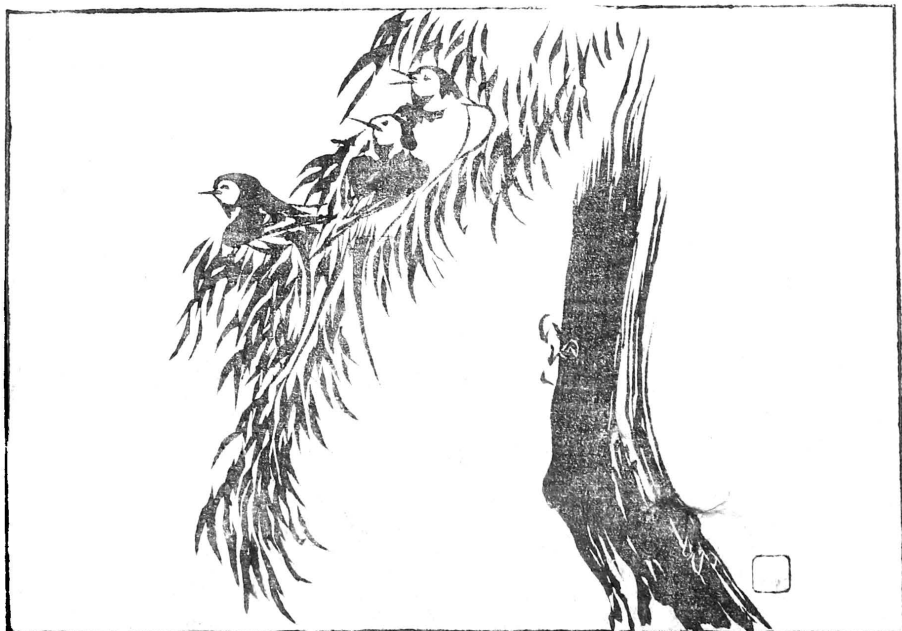
晴東隱士之出



晴東隱士之出

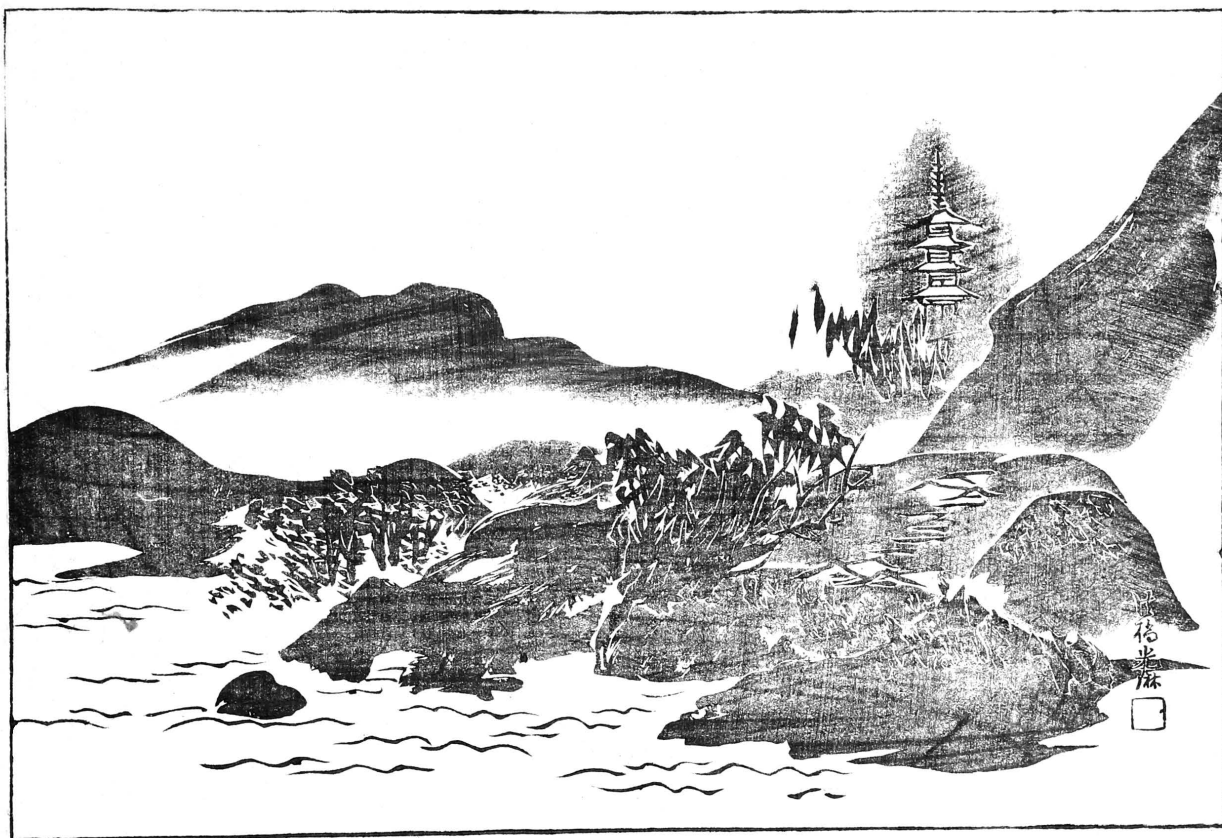


舊松軒藏

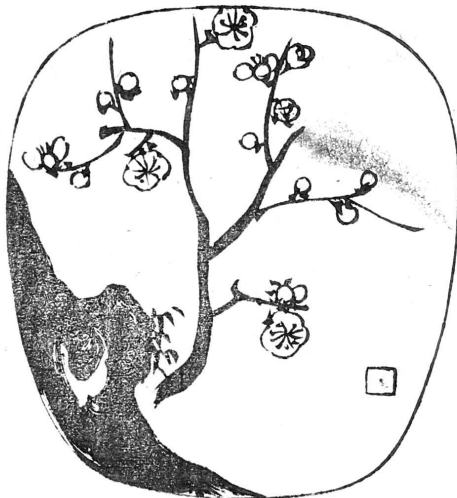
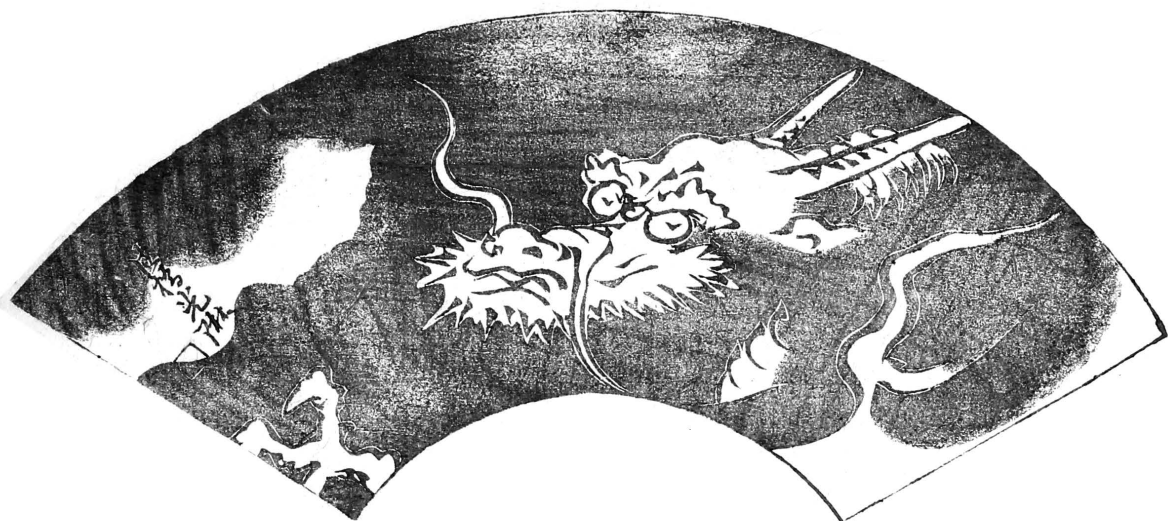


紙本設彩

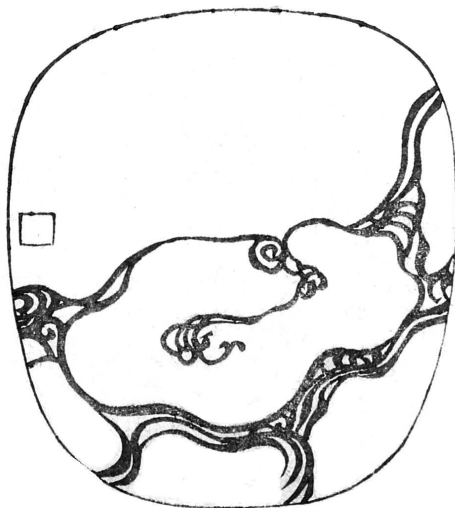
紙本
沙雪



本紙

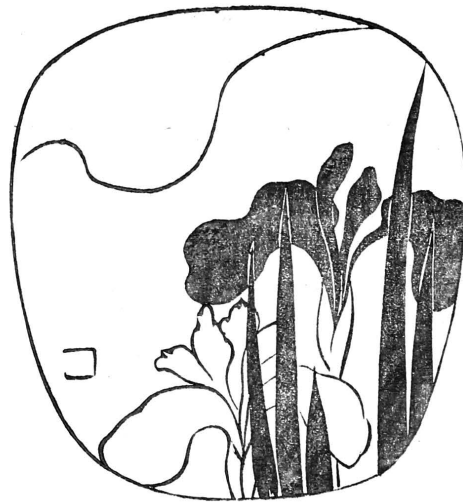


圓扇六枚
白地泥引



高枕
泥引

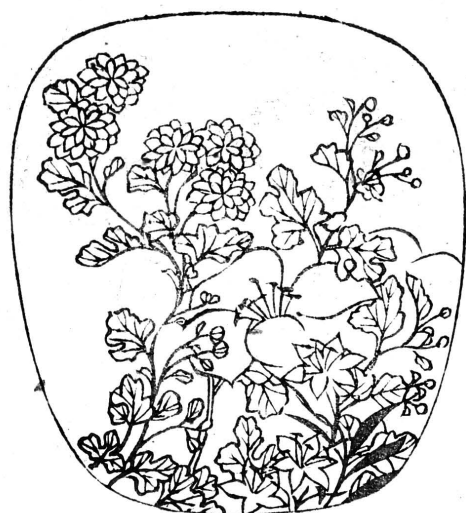
同右



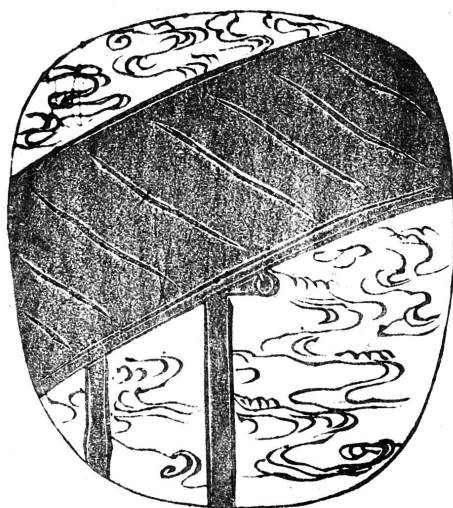
金地



金地



白地



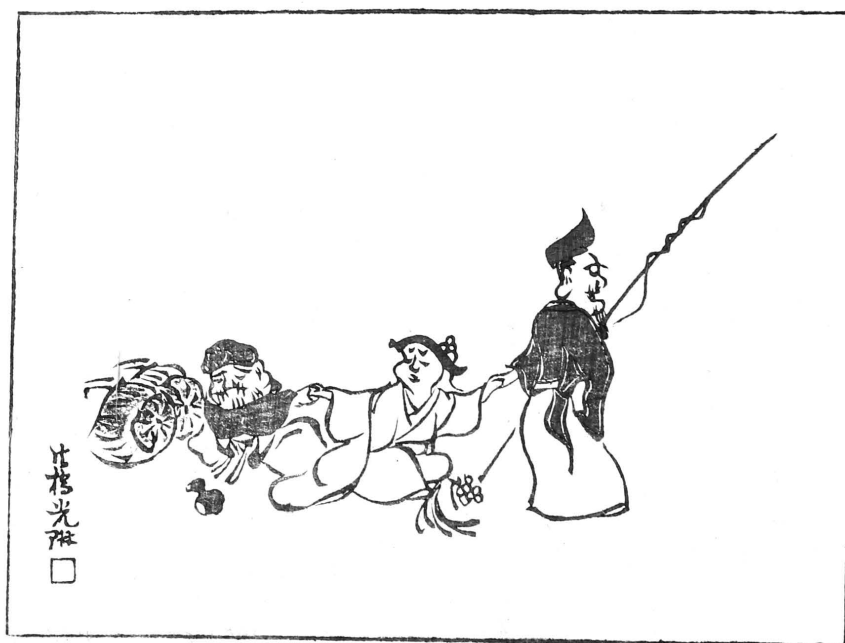
金地

檐銀泥
川
波群青

紙本設彩



紙本設彩

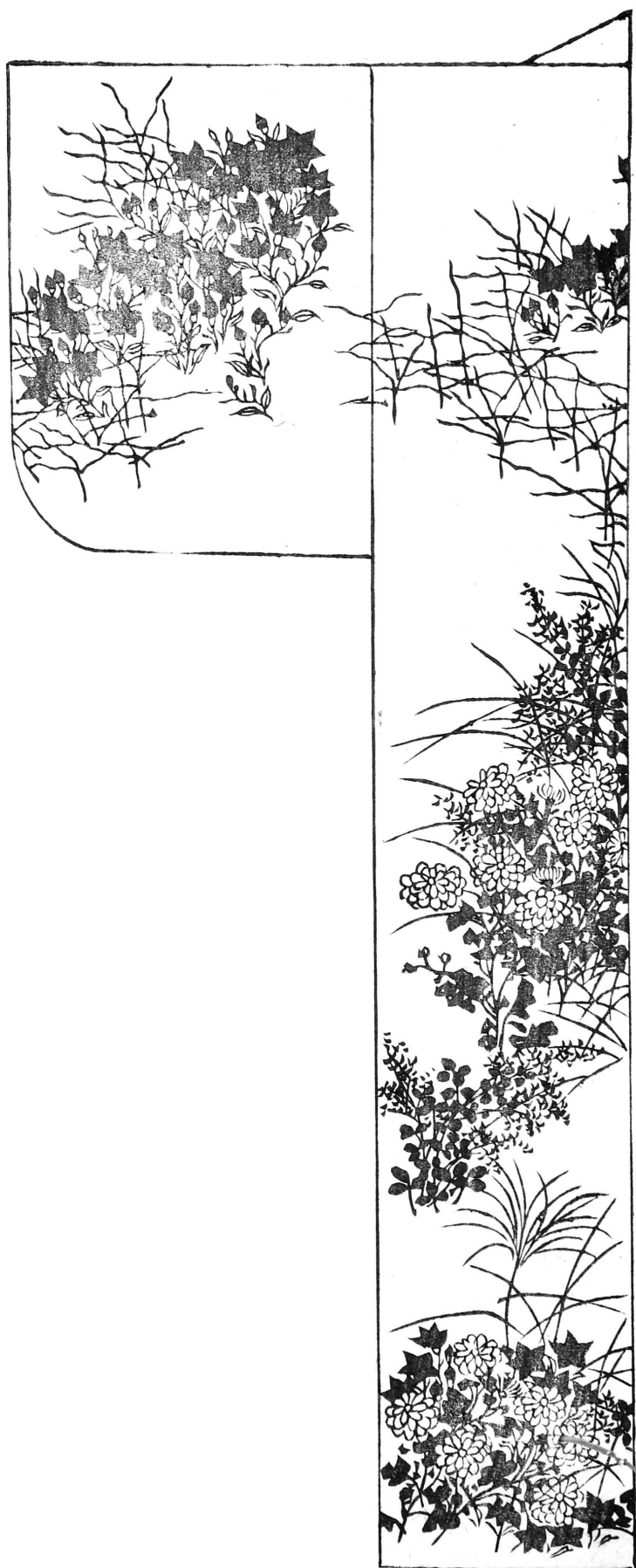


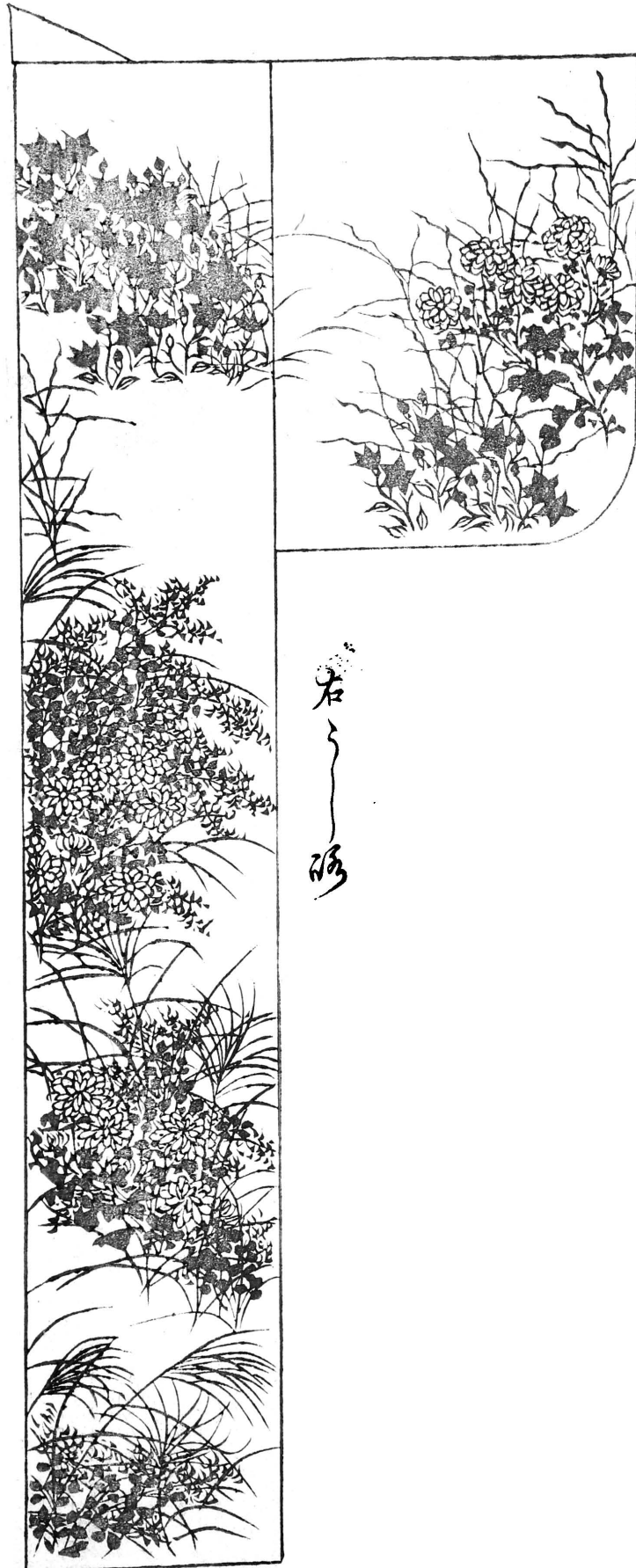
汪精衛



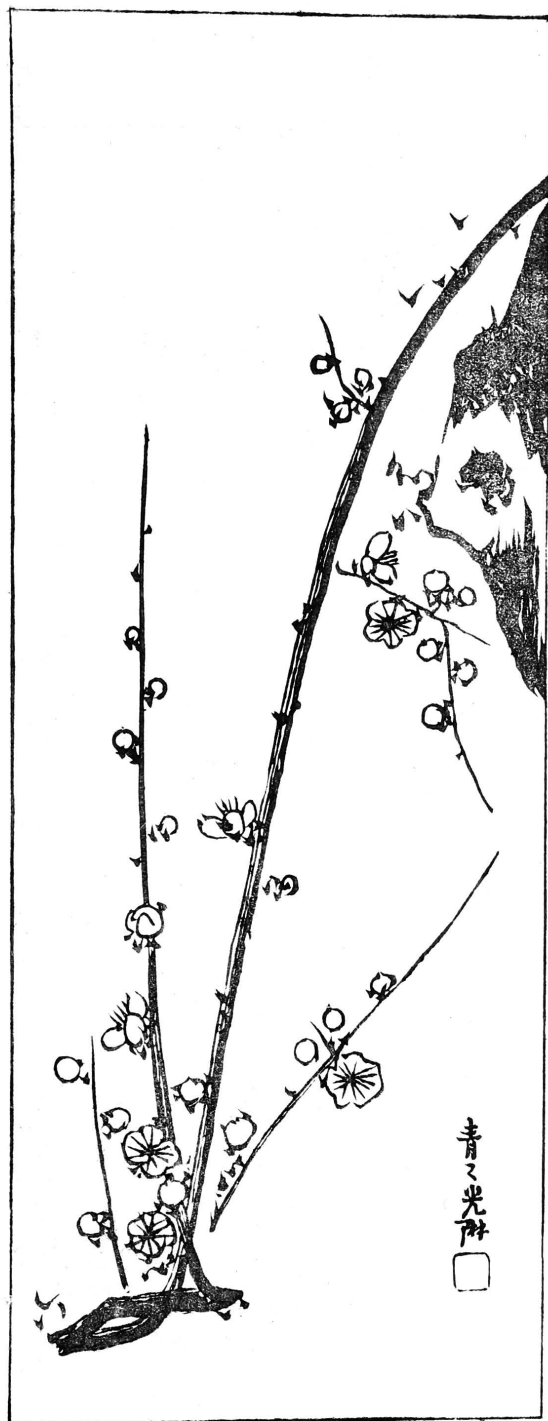


秋花をよみ
秋草は少神く秋草も花の金銀泥



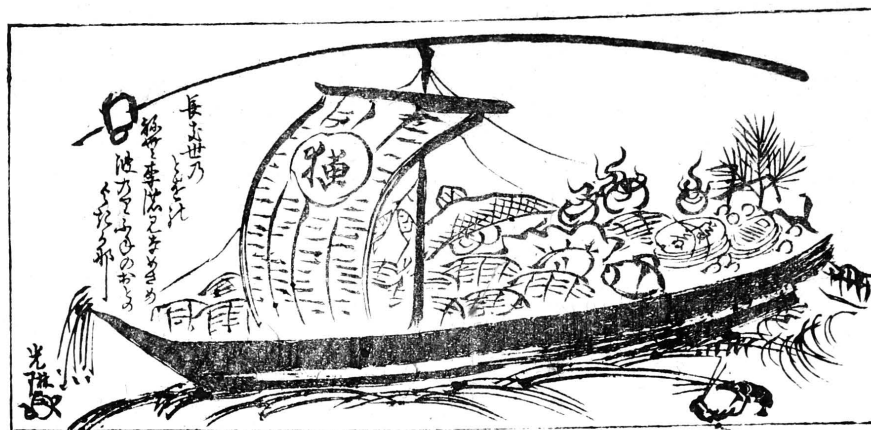


繪本
修彩



繪本
墨畫

紙本墨画



紙本墨画

松竹梅雪月花



紙本
中淡彩
左右
墨画





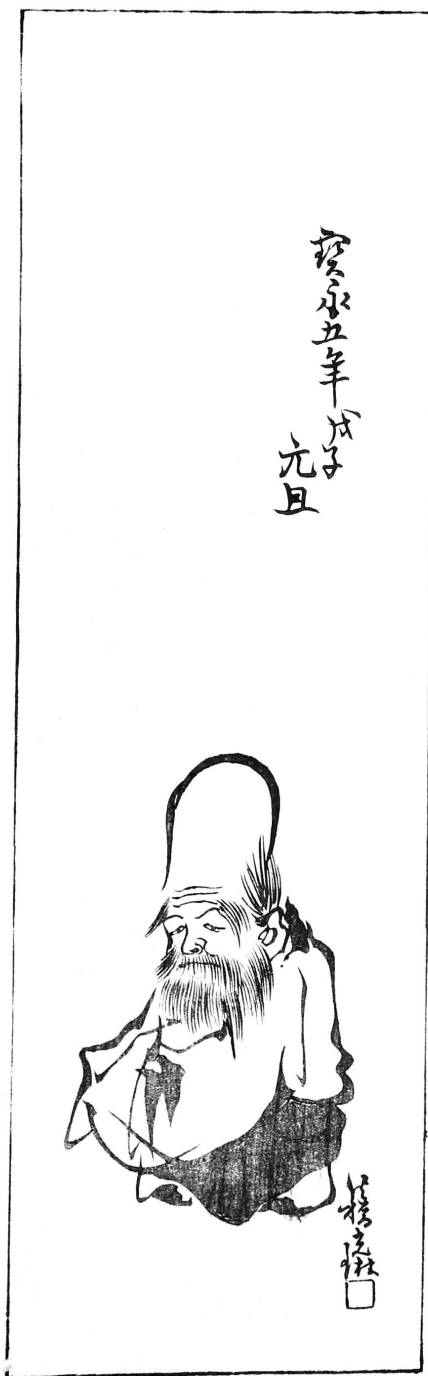
紙本墨畫
福祿壽



紙本墨画



紙本墨画

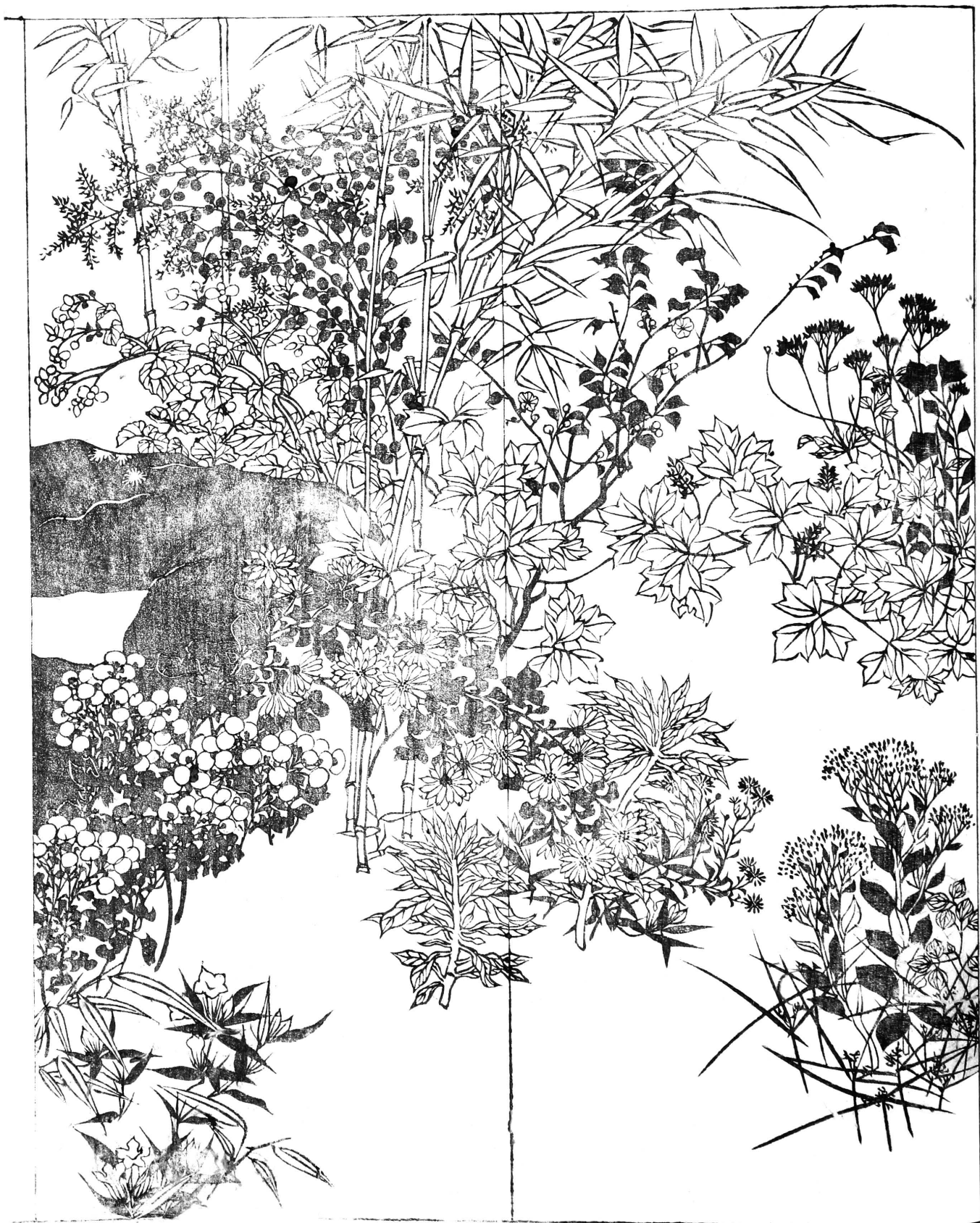


金谷一畹芳







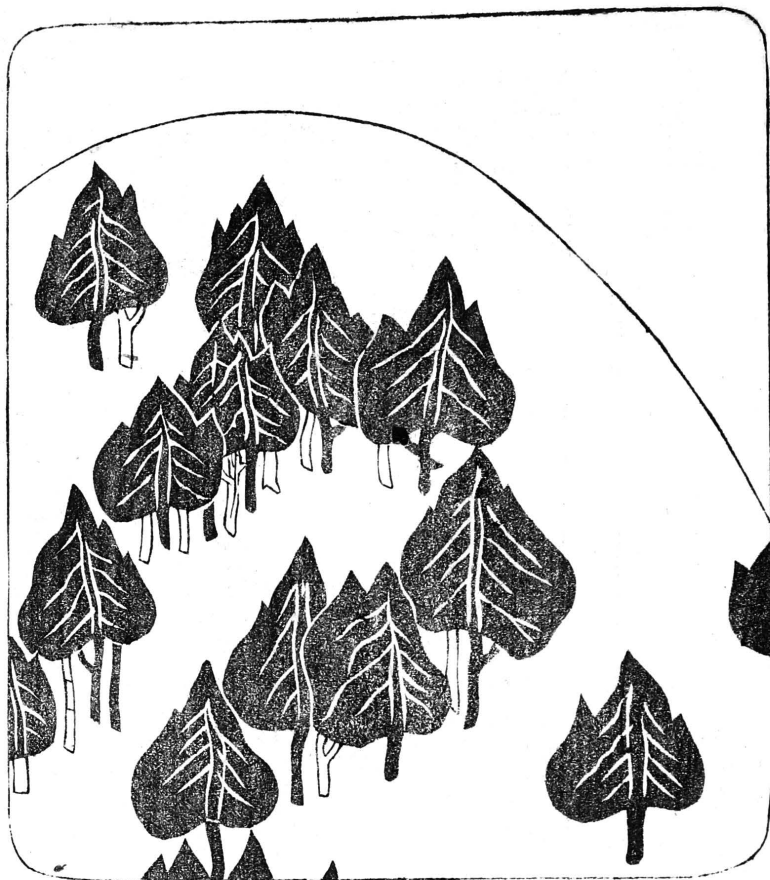






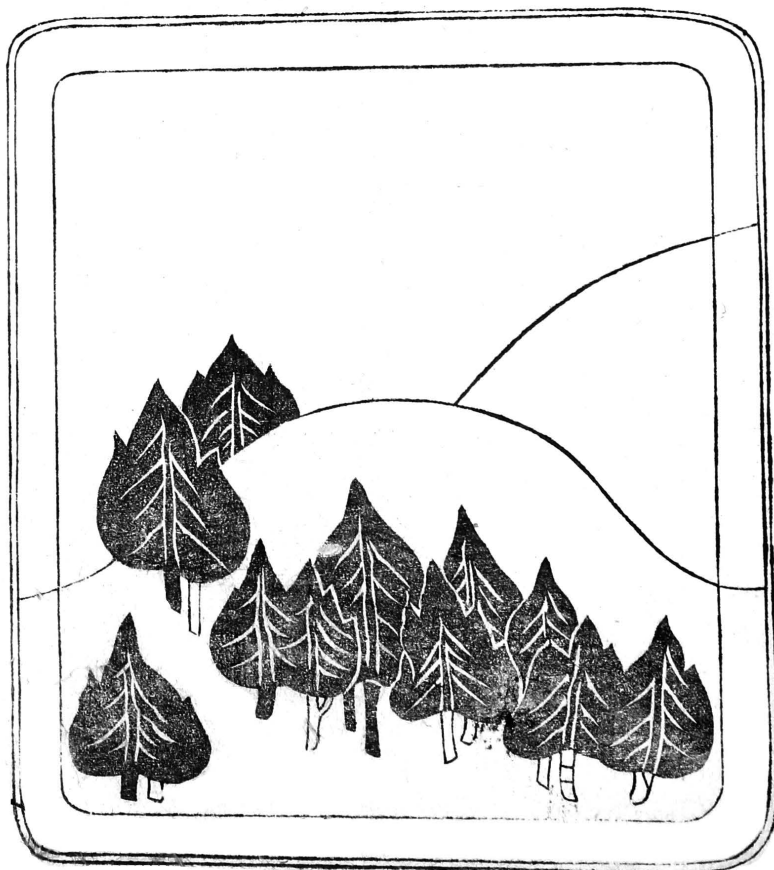
時珍三輪硯箱

丈九寸
横八寸

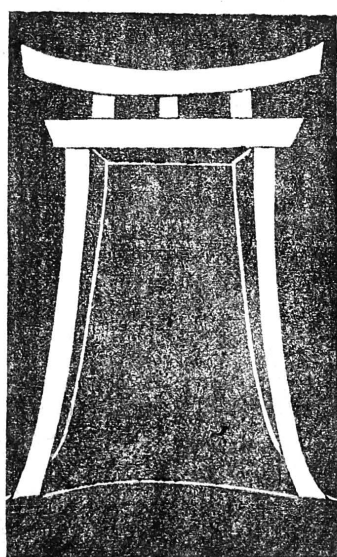
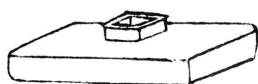
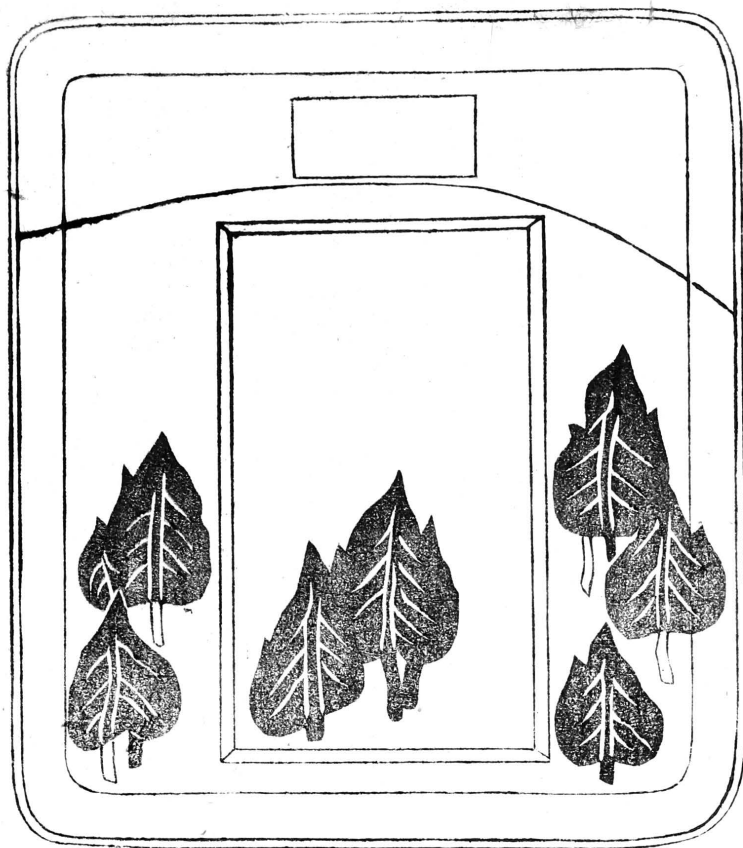


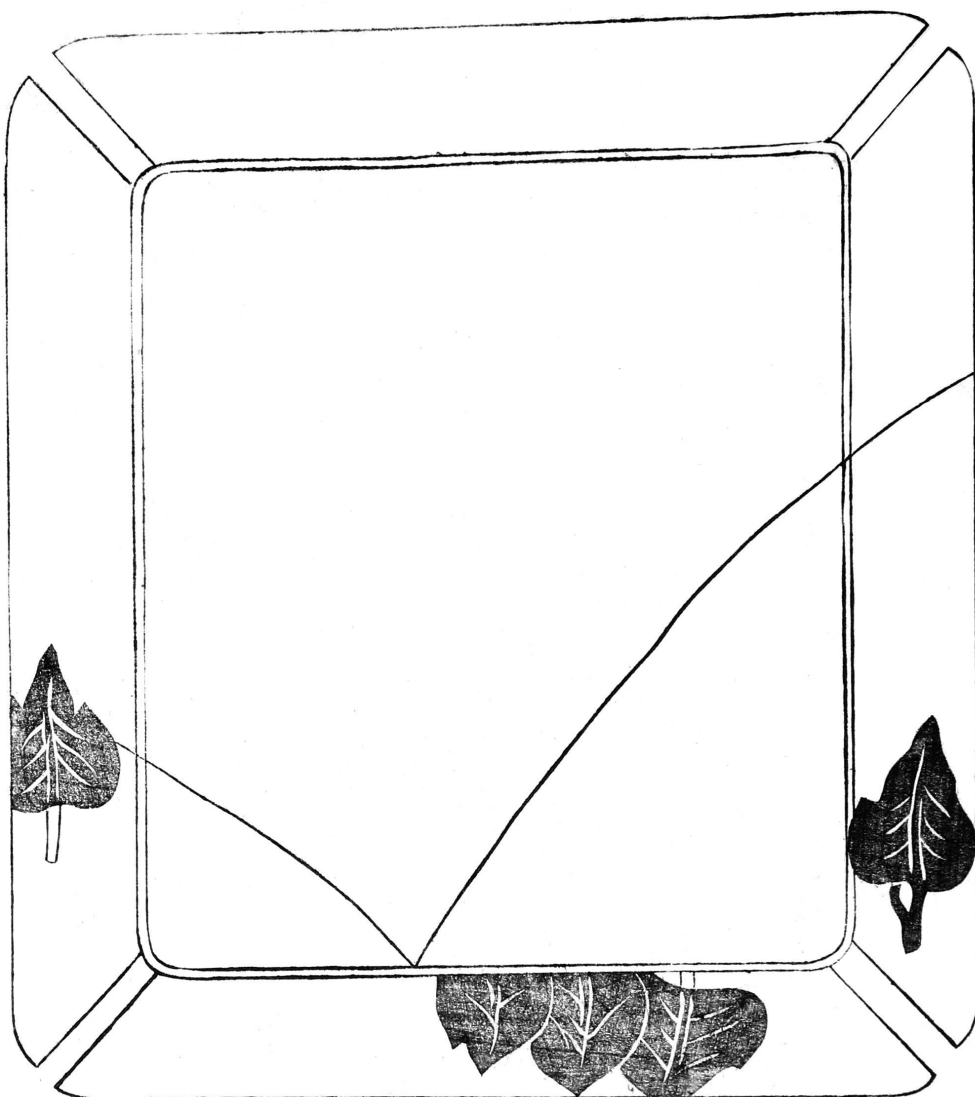
地盤系杉をとりし青貝をとりし

し



其
一



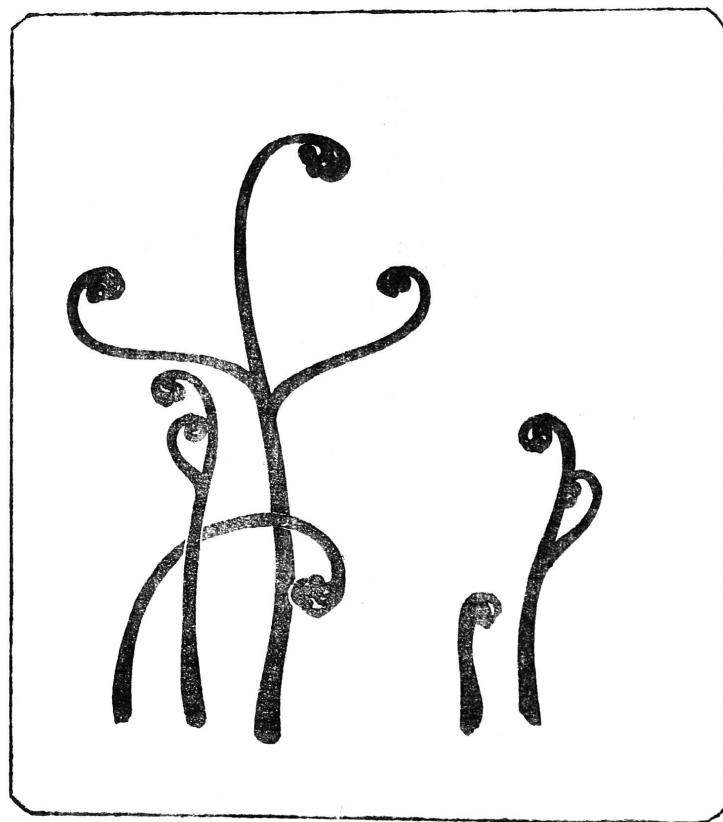


月夜

月夜をみる
面青貝
かきお



千
々
々
々
々

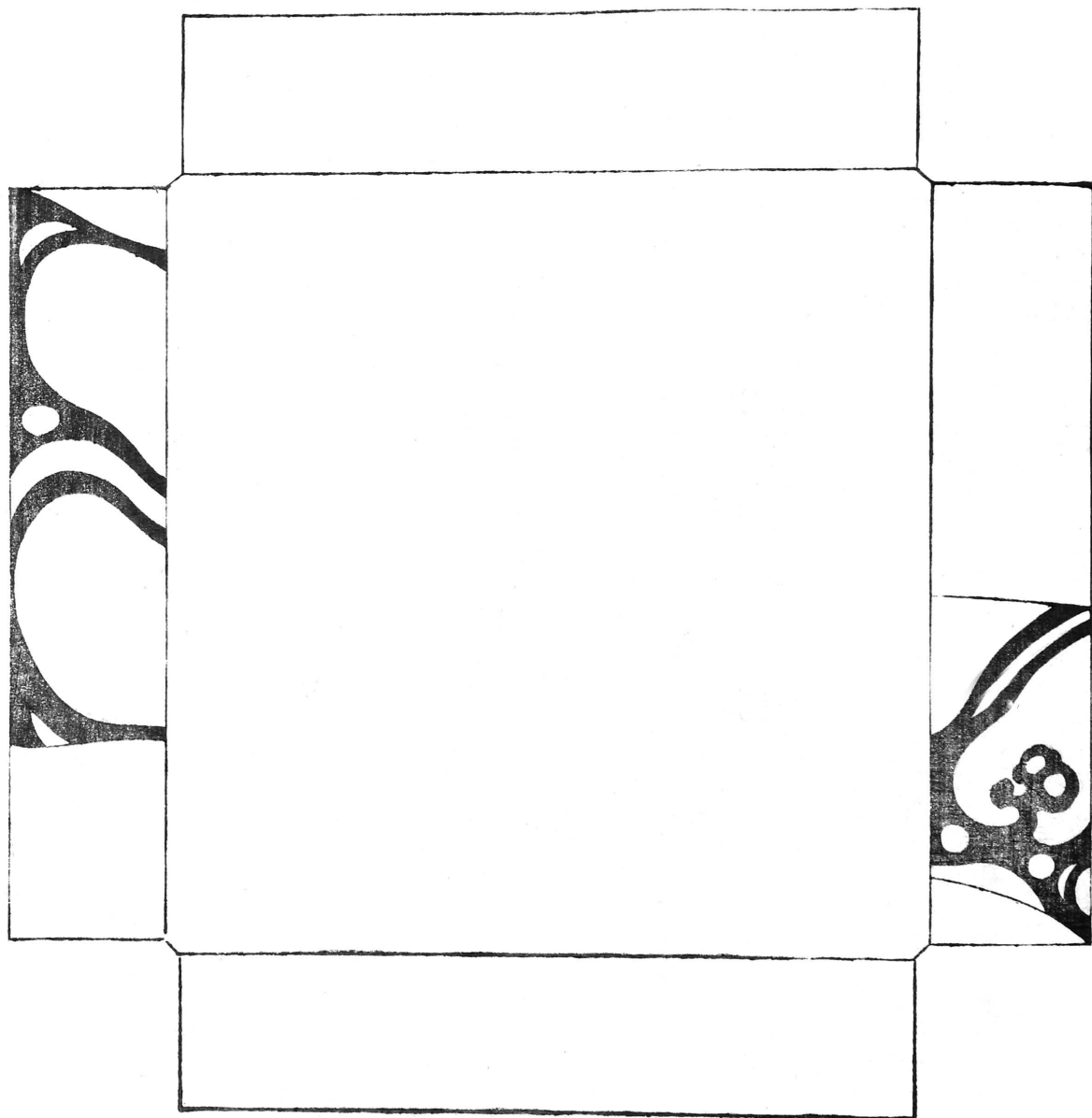


同 硯箱

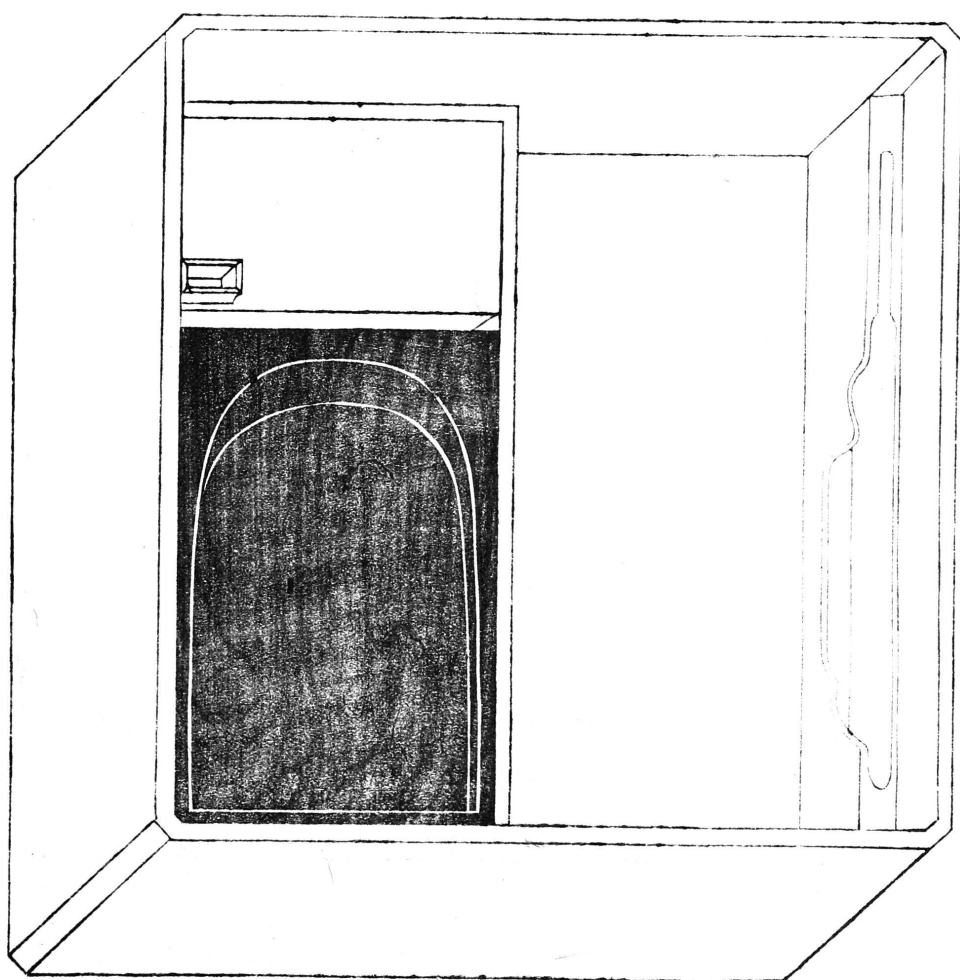
地熱金
 表青貝菱文
 筋黒くすり金
 さうめき青貝紋
 馬陽くすり金
 海青文のくすり金



玉椀也
 寸法
 丈八寸
 横寸



其二



右箱出付

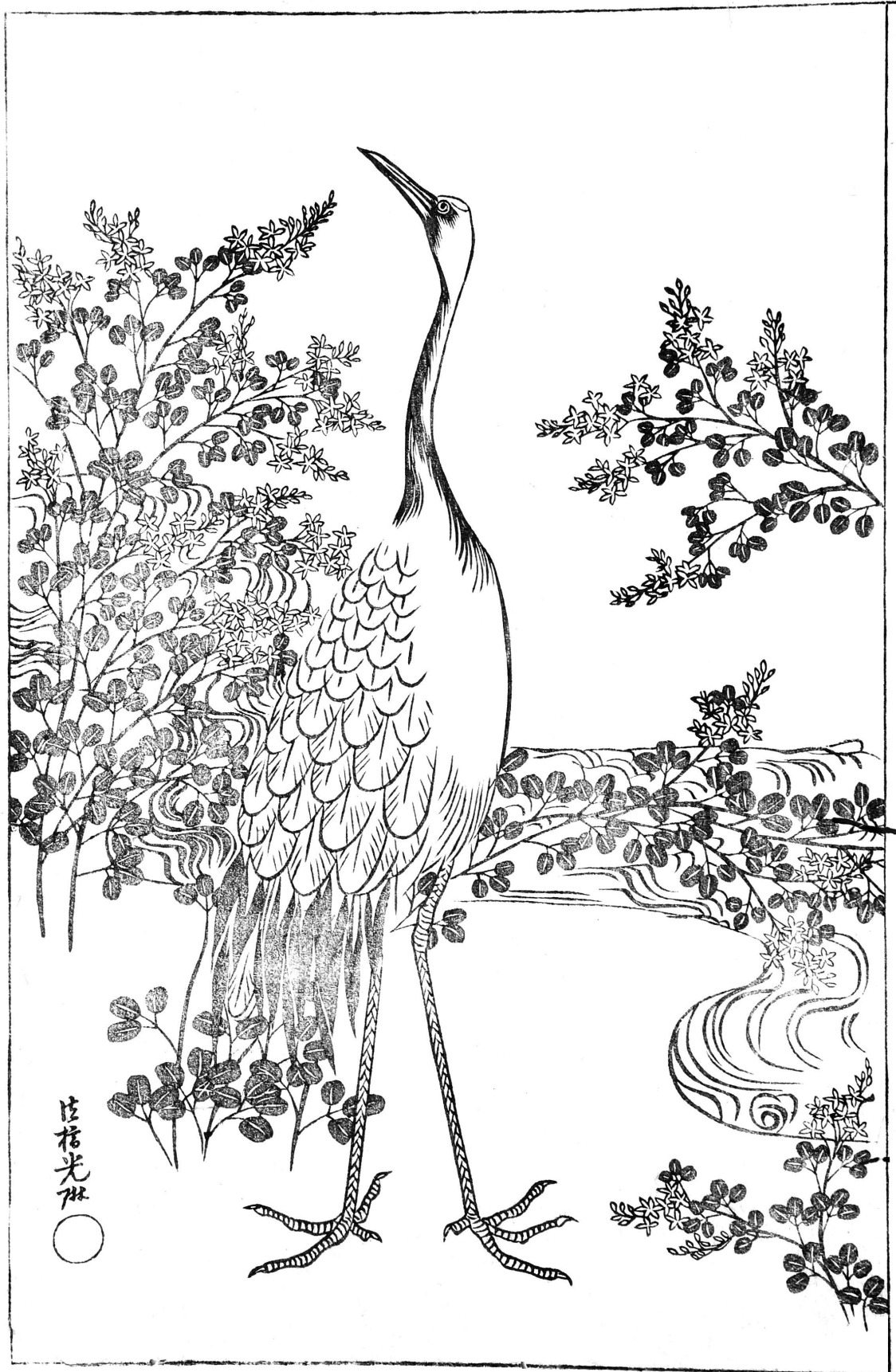
依形渡銀箱

青光造



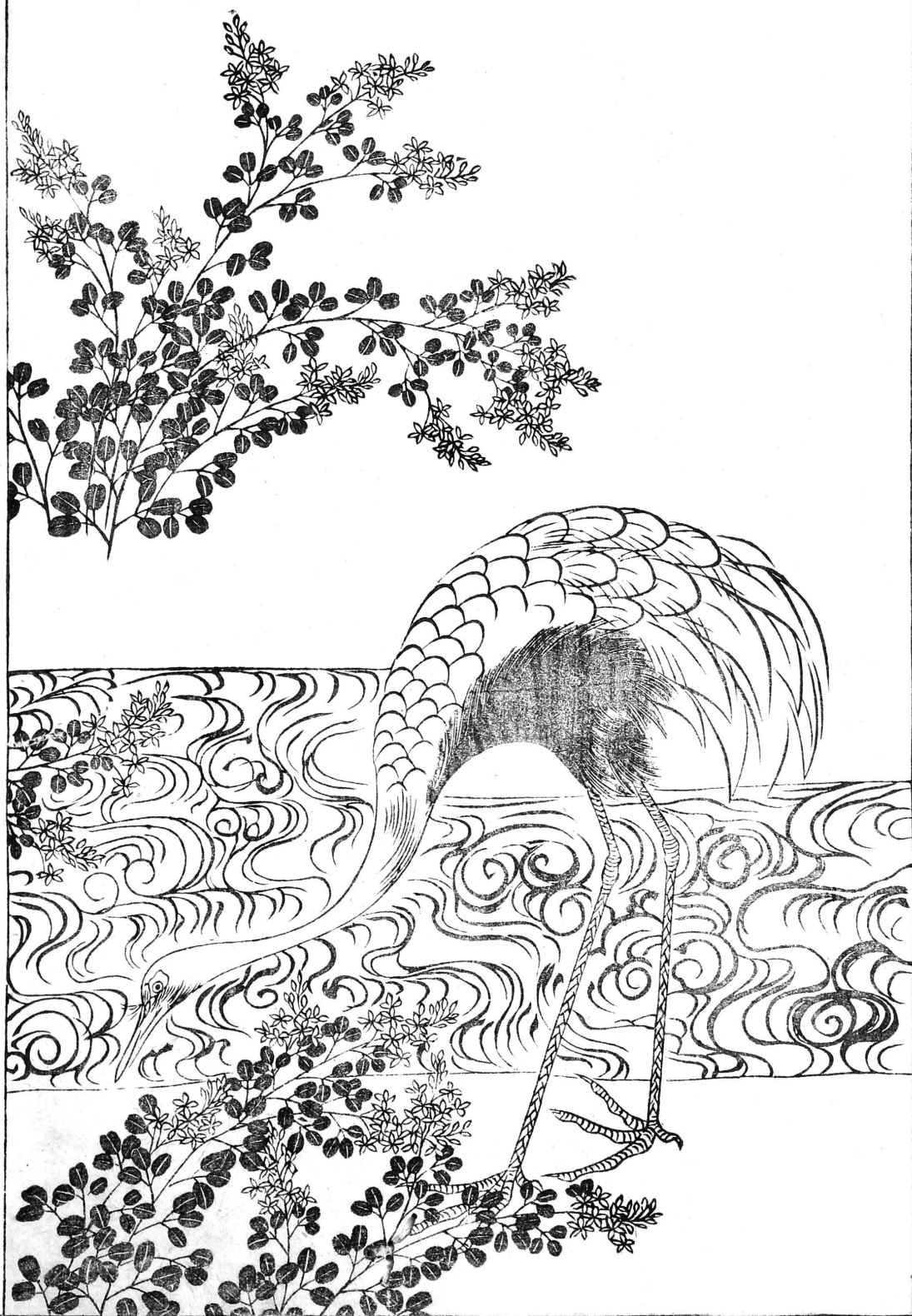
金北
二枚
杉
屏
一
双
極
彩
名
兩
面
參





佳格光琳





平安吉町三丁目
八幡井知市

今月
藤井氏

彫工清水柳三

入
爆
开
外
市
年
空